

泉徳寺のてんぐ(今木)

今木の泉徳寺は、真言宗の寺であるが、この寺の仁王門には、てんぐがいていわれている。

そのてんぐは、堺の大寺から一晩のうちに飛んできたもので、そのとき仁王門の仁王を、一体ともたすえさせてやっきたといわれている。

村の上下大手垣内の西の方に、てんぐ森と称する、うっそうとした森があるが、その名前がらいつて、泉徳寺にいてるてんぐの、じつとこに住まっていた場所は、その森だったのかまじれない。

